

大河事業予算 再び否決

伊豆の国市議会

交付金問題を批判

市、再度予算案提出へ

伊豆の国市議会は27日、臨時会を開き、大河ドラマ関連事業予算に関する2021年度一般会計補正予算案について審議し、反対9、賛成7で否決した。山下正行市長は「ドラマをきっかけに疲弊している観光などに携わっている人々を、少しでも元気づけるためにこの事業をやらなければならぬ」と話し、市議会6月定例会に改めて予算案を提出する考えを示した。



賛成少数で否決された大河ドラマ関連事業予算
＝伊豆の国市役所

市が提出した同事業予算は、大河ドラマ「鎌倉殿の13人」伊豆の国市推進協議会交付金の1億3500万円。ドラマ館関連が9018万3千円、それ以外が4481万7千円。国の地方創生推進交付金を活用し、ドラマ館の設置場所は葦山時代劇場とした。

反対議員たちは、市が当初予算案を決めた3月末の臨時会後に、同交付金の申請を取り下げていなかったことなどについて批判し

た。「(20日の)全員は、取り下げて改めて協議会まで議会に報告申請の手続きを行い、がなかったことは議会今後の定例会などで提軽視。交付金について案するべきだ」などと

述べた。ドラマ館の設置場所が、これまで市が示していた時代劇場と変わっていない点なども指摘した。

山下市長は冒頭、同交付金に対する市の対応について謝罪した。臨時会后、報道陣の取材に応じ「交付金のことがセンチティブ(過敏)な問題だとは思っていたが、否決の重要な要素までとは思っていなかった。(交付を受けるために手続きが必要な期限の)6月4日までに間に合わないの、交付金は使えないと認識している」と話した。